

# 研究実施のお知らせ

2024年5月19日 ver.3.0

## 研究課題名

胸部画像読影のスキル向上の過程に関する研究

## 研究で利用する診療情報

2020年6月から2023年12月の間に島根大学医学部附属病院で胸部X線写真検査を受けられた方の胸部X線写真画像

## 研究の目的・意義

胸部X線写真読影に代表される画像の読影スキルは、初心者である医学生が研修医に至るまでに身につけておきたいスキルです。しかし、どの程度の読影練習でどの程度スキルが上達するのかを調査した研究はなく、読影練習にあたっての目安はこれまで曖昧であり、初学者にとって取り掛かるのに躊躇する原因となっていました。そのため、医学生の多くが胸部画像読影を修得しないまま研修医となり、研修病院で容易に撮影できる胸部CTばかりをオーダーし、ますます胸部X線写真から遠ざかる、という悪循環に陥っているのが現状です。初学者にとって、どの程度の修練である程度の読影レベルに達することができるのか、という目安が明らかになると、学習に取り掛かりやすくなり読影レベルの向上が期待でき、医療の発展に寄与すると考えられます。研究対象は胸部画像読影初学者であるため、やむを得ず医学生を対象に研究を行います。

## 研究の方法

胸部画像読影法を体系的に学ぶ「島根大学医学部高度総合診療力修得Eコース」に参加する医学生6名の胸部画像読影カスコアを、コース開始前、コース実施中、コース終了時に症例問題集を用いて測定します。具体的には、最初の所見を指摘するまでの時間、読影の正確性を評価し、どの程度の期間でスコア向上が見られるかを明示します。

コースにおいては電子カルテ内に保存されている胸部X線写真画像を医学生に見せ、読影方法を教授します。電子カルテの操作は研究者が行い、患者さんの病歴情報などは医学生に見えません。氏名・性別・年齢のみ画面上に表示されますが、研究対象者には守秘義務がある旨説明し同意を得ています。

## 研究の期間

2024年6月21日～2025年3月

## 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。また、結果の透明性の確保のため、解析に用いた個別データを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

## 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者

ながおたいし

長尾 大志

島根大学医学部地域医療教育学講座

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

TEL: 0853-20-2542

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2024年12月までをお願いいたします。それ以降は修得Eコースに使用するため、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者

ながおたいし

長尾 大志

島根大学医学部地域医療教育学講座

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

TEL: 0853-20-2542